

EVENT INFO

Live & Seminar 第4ターム

音楽を楽しみながら、電気のこと、未来のことを考えよう!

Vol.1 6.27(土) Vol.2 7.18(土)

Vol.3 8.29(土) Vol.4 9.26(土)

Vol.5 10.24(土)

11:30 開場 / 12:00 開演 (予定)

@ban.K ベルクヒュッテ (中央区盤渓410番地)

主催: NPO法人ベターデイズプロジェクト

FM NORTH WAVE 3.11 Special

"LIGHT FOR TOMORROW"

3.11(水) 19:00-21:00

出演: タック・ハーシー

FM North Wave (82.5MHz)

毎年放送している3.11特番。震災から4年目を迎え、被災地から北海道に避難している人たちはどのような生活をし、何を思い、何を求めているのか。被災地と北海道を繋ぐ2時間。

福島の子どもたちを守りたい!

出前授業 × ストリートライブ

4.4(土) 11:00-16:00

@チカホ (北大通交差点広場西特設ステージ)

12:00~13:00

出前授業 「いま福島はどうなっているの?」かわはらしげお

14:00~15:00 コラボトーク 「福島の子どもたちのために」

Tuck Hersey × 穴戸藤 × かわはらしげお

11:00~16:00 ストリートライブ in チカホ

主催: 福島の子どもたちを守りたい! in チカホ実行委員会

チェルノブイリ・ウィーク映画上映会

「日本と原発」「おだやかな日常」

4.24(金) 10:10-20:45

@プラザ2・5 (狸小路5丁目)

料金: 前売り 1本 900円 2本 1,500円

当日 1本 1,000円 2本 1,800円

主催: 北海道生活クラブ生活協同組合ほか

「Better Days」サポートのお願い

「Better Days」編集部では、以下の項目についてサポートしていただける方を募集中です。

広告スポンサー

誌面に広告を掲載することで資金面での支援をお願い致します。(年間全6回契約)

カンパ

可能な時に可能な範囲で、資金面での支援をお願い致します。(契約なし)

設置・配布店舗

毎号10~50部程度置かせていただくことで、普及啓蒙面で支援をお願い致します。

カンパのご入金先

随時受付中。発刊の度に郵送いたします。

ゆうちょ口座: 02730-3-47837

加入者名: NPO 法人ベターデイズプロジェクト

NPO法人ベターデイズプロジェクト 会員募集のお知らせ

仲間が増える! 楽しいから
学びが増える! 続けられる!

主催イベント「Live & Seminar」、協力イベント「林田健司流 復興支援歌プロジェクト・みんなの音がさね」、フリーペーパー「Better Days」編集、その他、各協力団体主催イベントへの支援など、ともに活動していただける仲間を募集しております。

一般/法人会員 一口 1,000円 × 12ヶ月 (議決権を有します)

※ともに一年ごとの更改となります。

賛助会員 一口 5,000円 × 12ヶ月 (議決権はありません)

お問合せ・お申込はメールにて承ります

info@betterdays-project.net

スマートフォン・携帯電話からのご連絡の場合、betterdays-project.netからのメールを受信できるよう設定して下さい。エラーで届かないことがあります。

3.11後の生き方 Living the Life After 3.11



「ウンをつくる専門家」より
「本当のことを伝える素人」に

私が「原発出前授業」をやり始める時にまず考えたのは、どうやって広く一般の市民の皆さんに、この「原発出前授業」の存在を知ってもらおうのかという事でした。まずやってみよう、その年の4月末に札幌市内で行われた脱原発の大きな集会で、参加者に配布されるパンフレットの中に、「原発出前授業」の案内チラシ(要項)を折り込んでもらうことでした。この日の参加者は四百名を越えていましたが、どの脱原発の団体にも市民グループにも属していない、たった一人の無名の個人が配ったチラシに、どれだけの人が目を止め、関心をもってくれるのかはわかりませんが、数日後、そのチラシに載せてあった私の携帯番号に、ある女性の方からの連絡がはいりました。これが、私の「原発出前授業」への初めての注文だったのです。

くの素人が、広く一般市民の皆さんにむけて、偉そうに「授業」などということでもしても良いのだろうか? という事でした。けれども考えてみると、これまで原発や放射能の研究者や専門家と言われる人たちが、私たち一般市民に、どれほど「本当のこと」を伝え、教えてくれたのでしょうか? 三、一後の福島第一原発事故以後、原発や放射能の研究者や専門家と言われている人たちがこれまでもどれほどの「ウン」をついていたのか、「本当のこと」を隠していたのかということ、明らかにしてしまったのではないのでしょうか。そう考えると、「ウンをつくる専門家」よりも「本当のことを伝える素人」のほうが、まだマシなのではないか。原発や放射能については、むしろ素人だからこそ、「よくわからない」という一般の市民の皆さんに「わかりやすく・面白く」伝えることが出来るのではないか。改めてそんな思いから、私自身の「原発出前授業」をスタートさせていくという決意を固めたのです。



大通公園での脱原発イベントにて、誰にも分かりやすい言葉を選びながら説得力抜群のスピーチを行う川原さん。

「出前授業」の注文も、世の中を変えるのも、まずは女性から。こうして始まった私の「原発出前授業」なのですが、最初の二ヶ月くらいの間、「原発出前授業」のチラシを見てリクエスト(注文)をしてくれるのはなぜか女性の方からばかりでした。そして、その多くが子どもを持つ母親の方でした。特に、私の「原発出前授業」を企画し、主催してくれる方々には、生協活動や環境や食に関する市民運動に関わっていたり、「母と女性教職員会」や民主的な婦人活動に関わっているという女性の方が少なくありませんでした。

さらに、このような方々が企画・主催する「原発出前授業」に参加される人々も、圧倒的に女性の方、特に子どもを持つお母さんたちの参加が目立っていたように思います。チェルノブイリ原発事故の後の時もそうでしたし、今回の福島第一原発事故の後においても、まず最初に声をあげて、行動を始めるのは女性たちから、それもわが子を放射能から守りたいと強く願うお母さんたちからだったように思います。これはやはり「生命」を産み育てる女性・母親としての生命的(本能的)な直観からなのでしょうが、とにかく理屈も「原発」と「放射能」とは危険なものであり、私たちの「生命」とは相対的に弱いものなのだという、直観的な判断がはたらいているように思われます。

